

## 目 次

附属図書館長に就任して……………	1
シリーズ:所蔵資料紹介	
(溪世尊(百年先生)著『経典餘師』……………)	4
ミニシリーズ・情報検索コーナーより その	
(二次文献データベースを使いこなそう) ……	6
平成16年度日本紹介コーナー図書 ……	9
本学教員著作寄贈図書……………	11
ABC操作方法の紹介 ……	12
学生選定図書について ……	14
平成16年度利用状況……………	16
ミニトピックス ……	18

## 附属図書館長に就任して

### 法人化2年目の課題と抱負

和 泉 好 計

本年4月1日付で副学長(附属図書館担当)を拝命しました。任期中、その重責を果たすべく微力ながら本学附属図書館の充実のために最大限努力したいと思えます。能勢学長からは、「利用者の真のニーズにあった附属図書館づくりに努めるように」とのお言葉を賜りました。当然今までの歴代附属図書館長はじめ図書館職員の方々や図書館諸委員の方々は、そのために精一杯努力されて今日の附属図書館を築いてこられたことと思えますので、その方針を踏襲しつつ新たな取組みをしたいと思えます。



私は鳥大に赴任して以来16年間、1ユーザーとして主に研究面ではありますが附属図書館から多大の恩恵を受け、研究・教育を今日までまっすぐ続けてこられたことに対して附属図書館には感謝せずにはおれないというのが率直な気持ちであります。しかしながら法人化2年目を迎えた今、附属図書館長の立場で考えた場合、国立大学法人を取り巻く諸事情はかなり厳しく、かつその変化が予想以上に急速である現実を直視するにつけ、附属図書館がわが大学の生き残りや発展のためにいかにして貢献するのか、貢献できるのかを積極的・建設的に考えていきたいと思っております。

そのためには、まず附属図書館の現在抱えている課題を今一度見直し、すでに取り組んでいる課題、すぐに取り組むべき課題、中・長期的に取り組んでいくべき課題に大きく分けて整理したうえで、可能なものから着手して、「利用者のニーズにあう」、つまり「学生と教員の満足度を上げ

る」ことができれば大学への貢献に直接つながるものと信じています。もちろん図書館職員や図書館諸委員会委員の方々々と力を合わせてのことです。その貢献が可能な限り目に見える形でなければならないと思っております。さらには、附属図書館の将来構想も重要であります。今までも歴代図書館長を中心として鳥大なりの附属図書館の将来像をつくってこられました。今一度新たな視点で見直し、それが近い将来実現できるよう常に努力する姿勢も大事であると思っております。

こういったことから、附属図書館長としてはまだ半年ですが、学内図書館諸委員会での議論をはじめ、保存されている膨大な資料の熟読やら学外の様々な図書館協議会への参加、他大学の図書館視察、図書館職員の方々との話合い、関連の専門家との話合い、等々を通じて、鳥大における附属図書館の課題と将来の抱負などを自分なりに持ちつつあります。そして、すでに現在取り組み始めているものもあります。以下にそれらを簡単に述べさせていただきます。

## 1. 附属図書館の課題と現在の取組み

法人化前の平成 14 年 11 月に、附属図書館は第三者の専門家による外部評価を依頼し、その答申を受けました。多くの指摘と課題を提示されましたが、その中で 3 年弱経た現在でも課題として残されていると思われる主な点は、①学習図書の新古さと量的不足、②図書館空間の狭隘さ、③過去の仕組みにとらわれない新「学術情報館」構想の実現への努力、が挙げられます。

一方、指摘された中ですでに改善されたか改善されつつある主な点は、①電子ジャーナル・学術データベースの整備と利用案内の PR、②情報端末の数、③図書館利用教育、④広報、ホームページの充実、⑤地域社会との連携・協力（鳥取県立図書館との相互協力）、などです。

①の電子ジャーナル・学術文献データベースは議論の末やっと予算の中央経費化が実現し、鳥大の教員・学生の研究支援のための最低のインフラが整備されました。しかし冒頭で述べましたように、大学全体の予算が今後ますます逼迫してくるなかで、この経費はますます大きな問題となることは必至であります。研究面の必須のインフラとして内容的には現状維持をしていく必要があると考えております。

①の学部学生の学習支援のための図書（入門レベルの専門書や一般教養書など）を充実させることについては、国立大学法人鳥取大学としても学生の満足度を上げるための最重点・最優先課題のひとつであり、この経費をいかに捻出するかを考えたいと思っております。附属図書館が 2 年前から進めてきて今かなりの軌道に乗っている鳥取県立図書館との連携は、相互図書利用の面で学部学生の学習支援を補完してくれるものと考えられますので、今後も学部学生にこの特典を大いに利用するよう広く PR していきたいと思っております。この「図書館報」が発行されるときには、鳥取市立中央図書館および米子市立図書館との連携も始まっており、その点では学習図書環境はますます充実してきております。

## 2. 将来の抱負：新学術情報館構想の実現に向けて

前述しましたように、本学ではすでに 10 年ほど前から新学術情報館構想が委員会で議論され

基本計画が策定されてきた経緯があります。この流れを受けて新たな視点から、いま学術情報部を中心として原案をつくりつつあり、附属図書館委員会にも承認を得ました。その構想とは、一言でいうと、「附属図書館と総合メディア基盤センター統合による高度な学術情報活動および大学構成員のキャンパス交流の場、仮称 **Agora**（アゴーラ＝人の集まる場という意味のギリシャ語）」構想ということになります。今までの構想に加えて、緑多い鳥大キャンパスにおいて文字通り中央にある附属図書館（中央図書館）の絶好の位置を活かして、研究・学習支援のみならず憩いと癒しの空間を提供することにより、多くの教職員・学生・地域住民の集まれる空間とすることができます。学部学生や教職員が教室や研究室・仕事場以外で心を癒す場がほとんどない鳥大の今の環境を考えると、このような空間は利用者の満足度を上げる大きな要素となると確信します。

その新学術情報館構想をもう少し具体的に申し上げますと、主な点は次のとおりであります。

- ① 附属図書館と総合メディア基盤センター統合による高度な学術情報活動の展開を行う。
  - ・電子図書館機能の強化、総合メディア基盤センターの情報処理・開発機能向上、総合メディア基盤センターの管理機能強化
- ② 大学の個性を発揮した特色ある情報発信の場とする。
  - ・例えば、乾燥地科学、染色体工学、鳥インフルエンザウイルス学、キッチンキトサン科学、きのこ科学、等々の大型データベースの構築
- ③ 「**Agora**」、すなわちキャンパス交流の場を提供する。
  - ・学術活動を通じた交流の場、教職員・学生の憩いと癒しの空間、カフェテリア、学術資料の常設展示、音楽・美術・文学・文化を通じた大学構成員と地域住民の集いの場、多目的ホール
- ④ 鳥取県や鳥取市の行政サービスの場を提供する。
  - ・教職員・学生および大学近隣住民へのサービス、地元情報発信、集いの場

上記は附属図書館の方々、総合メディア基盤センターの方々とともに作ったたたき台であり、これら以外にも鳥大で可能な様々なユニークなアイデアが出ております。法人となったわが大学が、従来の枠組み・仕組みにとらわれない柔軟な発想をすることによって、日本の大学では例のない地元と大学の個性・特性を生かした新しいコンセプトの新学術情報館が可能ではないでしょうか。

いずれにしても、わが附属図書館は鳥大の貴重な有形の財産であると同時に、構成員全員の知的な集いの場であります。地域にとっても貴重な財産であります。このような附属図書館を、大学構成員、地域住民、地元自治体にとって一層魅力的なものにしていくために、現在のどういふ点をどうすべきか、将来像としてはどうあるべきかなどについて、附属図書館や総合メディア基盤センターの関係の方々とともに利用者全員が常に高い問題意識を持って議論していただくことが必要だと思えます。

（副学長（附属図書館担当）、工学部教授（生物応用工学科））

シリーズ:所蔵資料紹介

## 溪 世尊（百年先生）著『經典餘師』

豊 田 久

溪 世尊（たに せそん）は漢学者、鳥取藩士。江戸時代の宝暦四年（1754）に生まれ、天保二年（1831）の五月十一日に没した。享年七十八歳。墓は鳥取市馬場町の日香寺にある。名は世尊。字は子達。号は百年。また玉藻舎主人。本姓は河田氏で、代々讃岐国高松領の郷士であった。父相馬の時、別に家を立て丸亀藩主の京極氏に仕えた。世尊は父が大阪滞在中に生まれ、故あって溪氏を称した。世尊は幼少より学問を好み、丸亀藩の白木蘭溪および清文会に従学。また文は東讃の菊池翁に、兵学を西讃の土田利重に、砲術を明石の荻野昭長に学んだ。天明年間（1781－89）に江戸、京都、大阪に遊んで学を講じ、ついにその地に客住した。名声がしだいにあがったので加賀に行き、侯命を以て大学を明倫館に講じた。やがて寛政年間（1789－1801）の頃に伯耆黒坂の緒形家に逗留し、山下嘉兵衛の推挙で鳥取藩に招かれ、以後因伯の間を往来して後進の指導に当たるようになり、程朱の学を以て尚徳館で講義をした。こうして鳥取の儒者の間で重きを得るようになった。享和二年（1802）三月に鳥取藩主池田斉邦はこの世尊の文武多芸を聞き、足止め料銀二十枚を与えて鳥取に滞在させることになった。世尊は経史百家は無論のこと、暦数・兵学・和歌・俗謡・医術・農学（農業改革の実践）に至るまで通曉し、書も能くし、かつ武技を能くした博学多芸の人であった。著書に『天朝史鑑』『天朝史略』『經典餘師』『千字文餘師』『太公望三略考』などがある。また鳥取藩における荻野流砲術の開祖となり、越後流兵学も伝えた。彼の著書は多く伝わらないが、刊行された『經典餘師』は有名で明治以後も国字解等の名のもとに復刊されている。



溪世尊の墓 鳥取市馬場町日香寺

『經典餘師』は、世尊が当代の経学先生がいたずらに無用の筆舌を弄し、国民教化の実際においてその資益なきを考え、教化普及の見地において四書五経等を取り、国字を以てこれに丁寧な訓読と解釈を加えて刊行したものである。所謂日本語訳の準漢籍（中国の漢籍に日本人が日本語で注や解説をつけたもの）に当たる。その読者にわかり易く聖賢の道を説いたもので、刊行されると歓迎されて全国的に広く読まれるようになった。初め、幕府は聖人の書にまめ仮名を付して刊行するのは、聖經を軽んずるものとして罪せんとした。世尊はこれは老母の素読に便にして、かつ意義の解釈を容易にするためであって他意はないと述べ、幕府はその孝思に出づるの故を以て遂にこれを問わなかったという。

『經典餘師』二十五巻は天明元年（1781）に脱稿したとされ、六年（1786）に「四子刻成」（四子の初刻成る）（中庸・大岡藤祐順和拜書）という。四子（四書）はこの年出版されたのであろう。四書は大学一卷、論語四巻、孟子四巻、中庸一卷である。「經典餘師目録」（後述の

書経に載す)等によると、あと小学五卷、詩経八卷、孝経一卷、孫子二卷のほか、『經典餘師』として書経六卷、易経七卷、蒙永三卷、近思録十卷、その他数書がある。その親切な書き下し文と日本語訳により、その出版の歓迎ぶりを見て、その名(題簽に皆『經典餘師』とある)で続けて出版されたと思われる。

当館所蔵の『經典餘師』(線装本)は、四書十卷即ち大学一卷(朱熹章句)、一冊、論語朱熹集註四卷、四冊、孟子朱熹集註四卷、四冊、中庸一卷(朱熹章句)、一冊の計十冊が二部。天明丙午(1786)仲秋の正二位菅原胤長序(ほか)がある。一部は刊記に「天保十三壬寅年(1842)二月四刻、江戸書林、須原屋茂兵衛(ほか)」とあり、天保十三年四刻本とする。各表紙に鳥取縣



『經典餘師』四書の部(天保十三年 江戸須原屋茂兵衛等刊本)

師範学校郷土室之印がある。もう一部は刊記に「嘉永五年壬子(1852)正月五刻、三都発兌書肆、須原屋茂兵衛(ほか)」、奥付に「三都発行書林、風月莊右衛門(ほか)」とあり、嘉永五年五刻本とする。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。このほかに、この増訂本の残巻(計五巻)として『増訂 經典餘師』がある。大学一卷(朱熹章句)、一冊、中庸一卷(朱熹章句)、一冊、論語四卷(朱熹集註)、但し論語は巻第一から巻第三までで(計三冊)、巻第四(一冊)は闕巻、以下孟子四巻を欠く。「安政四丁巳(1857)孟陽」の積翠陳人序文がある。小学五巻(五冊)が二部。一部は大岡順和藤祐跋に刻成を「寛政辛亥(1791)四月」とし、奥付に「寛政三年辛亥(1791)夏六月、大坂書林、柏原屋清右衛門(ほか)」とある。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。もう一部は封面に「文久癸亥(1863)再鐫」とあり、文久癸亥再刻本とある。奥付に「発行書肆、江戸、須原屋茂兵衛(ほか)」。各表紙に鳥取縣師範学校郷土室之印がある。詩経八巻(八冊)が三部。四書と同じ正二位菅原胤長序がある。この内の二部は封面に「浪華書林、稱觥堂 利涉堂刻」、刊記に「寛政五癸丑年(1793)四月、大坂書林、柏原屋與左衛門(ほか)」とある。この二部の内の一部は、各表紙に鳥取縣師範学校郷土室之印があり、一部は各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。もう一部は封面に「嘉永己酉(1849)再刻」「大阪書林、柳原藏版」、奥付に「寛政五癸丑年(1793)四月刻、嘉永二己酉年(1849)四月再刻、江戸書林、須原屋茂兵衛(ほか)」とあり、嘉永二年再刻本とする。各冊の初めに鳥取県氏寄贈印がある。尚書(書経)六巻(六冊)が二部。一部は戊午(1798)の世尊自序に「今年尚書刻成」とあり、橋本好道跋に「文化甲戌(1814)之秋。書肆文金堂。刻尚書餘師。」とある。「經典餘師目録」あり。奥付に「三都発行書肆、江戸、須原屋茂兵衛(ほか)」。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。もう一部は巻第一(一冊)は闕巻、巻第二から巻第六(計五冊)の五巻を存す。奥付に「大阪書林、河内屋真七板」。各裏表紙に鳥取県女子師範学校印がある。周易(易経)七巻(七冊)が一部。「文化丁丑(1817)初冬」の世尊自序があり、橋本好道跋に「文政己卯(1819)正月」とある。奥付に「発

行書肆、江戸、須原屋茂兵衛（ほか）」。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。蒙永三卷（三冊）が一部。奥付に「文政九年丙戌（1826）九月発行、江戸書林、須原屋茂兵衛（ほか）」とある。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。近思録餘師十卷（五冊）が一部。封面に「天保癸卯（1843）孟春」とある。世尊自序として「天保壬寅（1842）」とあるのは疑問。奥付に「三都発行書肆、江戸、須原屋茂兵衛（ほか）」。各冊の初めに鳥取県女子師範学校印と鳥取県立八頭高等女学校印がある。

溪 世尊（百年先生）著 日本語訳の準漢籍『經典餘師』各部の版本は津々浦々全国的に多数あって、翻刻も重ねられており、儒学の日本受容の上からも、総合的な研究が必要であると思われる。（地域学部 教授）

ミニシリーズ・情報検索コーナーより その

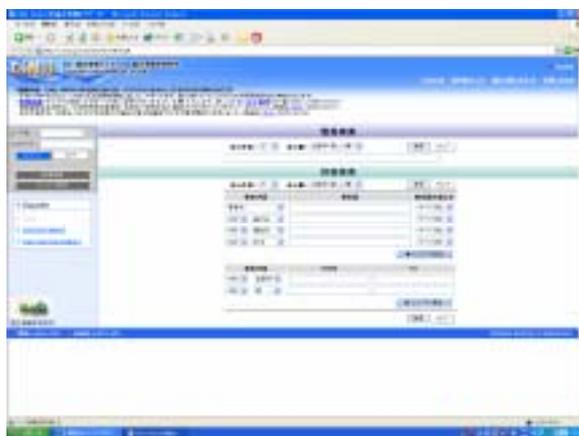
## 二次文献データベースを使いこなそう

膨大な情報の中から論文作成や研究・学習活動に必要な情報を選び出すには、情報を探すための道具が必要です。学術文献を探すときも、**Yahoo**、**Google** などの **Web** 検索だけではなく、「二次文献データベース」を使うと便利です。鳥取大学では、本年度学術資料費の整備に伴い利用できる二次文献データベースが増えました。論文の本文そのものではなく、それを探するために必要不可欠な情報（論文名、著者名、掲載誌名、巻号、ページ数、などの書誌情報）を編集したデータベースですが、その文献を所蔵する図書館を調べるためのデータベースや、文献の抄録（論文の内容をまとめたもの）、文献の全文が見られる電子ジャーナルにリンクされているものもあります。鳥取大学で、利用できる文献データベースの特徴と利用方法について説明します。ここで紹介する二次文献データベースは、図書館のホームページ (<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>) の「論文などを探す」から利用できます。目的に合ったデータベースを使いこなして、論文作成や研究活動の効率化に役立ててください。

### ・ CiNii

NII（国立情報学研究所）で提供しているシステムです。

- ・ 日本語の学術論文を中心にした論文情報を提供します。
- ・ 文献の引用関係（その文献が引用している文献、その文献を引用している文献）を表示します。
- ・ 本文へナビゲートします。本文の一部は有料の場合があります。
- ・ 所蔵館の情報がわかります。



CiNii 検索画面

## ・ Jdream

科学技術文献速報の **Web** 版で、科学技術、医学に関する、学術論文や解説的文章などの文献情報を幅広く検索できます。キーワードや著者名、雑誌名などから検索します。また、論文等の内容をまとめた抄録がついている記事がほとんどで、本文を読まなくてもある程度の内容を押さえることができます。英語などで書かれた文献にも、日本語の抄録とキーワード（シソーラス用語）がついています。

\*工学部、農学部のネットワークから利用できます。（プロキシの設定をしている場合、チェックをはずしてください。）

## ・ 医中誌 Web

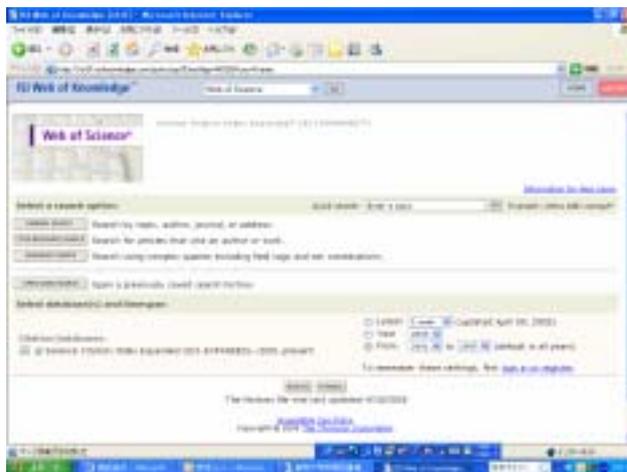
医学中央雑誌の **Web** 版で、発行されている医学・歯学・薬学およびその関連領域から収集された約 **2,400** の資料から採択されている二次文献データベースです。採択分野は生理学・生化学などの基礎分野から臨床医学の各分野、さらには獣医学・看護学・社会医学など広範囲におよんでいます。

## ・ 朝日新聞記事索引（聞蔵）

朝日新聞社が提供する高速記事検索サービスです。**1984**年**8**月以降の**400**万件（**2003**年**9**月現在）にのぼる記事データベースが検索可能です。

## ・ Web of Science

自然科学系の主要な学術雑誌、約6,000誌を対象にした書誌データベースです。特長として通常のキーワード検索に加え、引用論文（Citation）に注目した検索ができます。「この論文がどんな論文を引用しているか」「この論文はどんな論文に引用されたか？」というような文献調査が可能です。



Web of Science 検索画面

利用のメリットとして、

- 1) 引用の流れを追うことで、研究の流れがわかる。
- 2) 通常のキーワード検索による文献調査では見逃していた論文が見つかる。
- 3) 自著の論文のインパクトがわかる。
- 4) あるテーマに関して、最多被引用文献（もっとも引用された文献）がわかる。
- 5) まったく異なる分野、学際領域分野での応用を知ることができる。

などがあげられます。

## ・ Current Contents Connect

欧米語の全分野の雑誌の書誌情報と目次、および **Abstract** が収録されています。学術誌の最新の目次情報を収録し、タイトルワードや著者名から目的の文献を探すことがで

きるようにした2次資料です。誰が、どの雑誌に、どんな論文を発表しているのかといった最新の研究動向を一目でレビューすることができます。**Web of Science**と同様のプラットフォームで検索できます。

#### • **SciFinder Scholar**

化学系や医学系など幅広い範囲の文献情報に加え、化学物質情報や化学反応情報など、さまざまな化学や医学関連情報等を検索できるツールです。画面上をクリックするだけでも構造検索や化学反応検索などが可能で、多様な検索方法が提供されています。また、検索結果から全文閲覧できる情報もリンクされています。

#### • **Scopus**

**4,000**以上の国際的な出版社から出版される**14,000**以上の科学・技術・医学・社会科学のタイトルを網羅する世界最大の抄録・索引データベースです。参考文献へのリンク (**backward linking**)、引用論文へのリンク (**forward linking**)、共通の参考文献を有する論文の検索機能を備えています。

#### • **Medline (医学文献情報)**

米国国立医学図書館(NLM)が作成する代表的な医学データベースです。医学分野だけでなく、歯科学、看護学、生理学、薬学など広範囲にわたって文献が収録されています。

#### • **Google Scholar**

米国 Google 社が提供する、学術出版/学会/大学などの学術文献を対象とした検索サービスで、論文、書籍、ピア・レビュー、前刷り、抄録、技術レポートなどの検索が可能です。現在ベータ版です。**Google Scholar**は査読論文、学位論文、プレプリント、書籍、テクニカルレポートなど学術的論文の多くをインデックスして検索できるようにしています。また、検索結果はできるだけオンラインで全文が入手できるものを表示し、中にはプレプリントサーバーや大学の**Web**サイトなど複数のリンクが提供されている場合もあります。

#### • **Ingenta**

約**25,000**タイトル以上の学術雑誌、**1,500**万件以上(**1988**年以降)の文献情報を収録し、ほぼ全分野をカバーする文献情報データベースです。もともと**1988**年より目次情報を**Web**上に公開していた**Uncover**と、電子ジャーナルサイトであった**ingenta**が合併し、書誌情報に加えて論文のフルテキストを表示するという、より包括的な雑誌文献情報を提供するシステムになりました。

そのほか、電子ジャーナル出版社の検索機能の利用も有効です。ここで紹介した、各データベースや電子ジャーナルの詳しい利用方法については、図書館情報課学術情報係(内線7060; **Email k030300@zim.tottori-u.ac.jp**)へお尋ねください。また、利用講習会も予定していますので参加してみてください。

## 平成 16 年度購入 日本紹介コーナー図書



平成 16 年度の留学生用図書購入費で次の 54 点の資料を購入しました。

選定にあたって、工学部の大木先生のご協力を得ました。ここに改めてお礼を申し上げます。

### 外国人留学生向け図書

著(編)者名	書名・発行年
Erhan Kozan and Azuma Ouchi	Operations research/management science at work (International series in operations research & management science vol.43) ・2002

### 日本人学生向け図書

野口 悠紀雄	「超」英語法 ・2004
岡崎 玲子	9・11 ジェネレーション 米国留学中の女子高生が学んだ「戦争」 ・2004
高橋 絵里子	CD 付き 話してみたい中国語 ・2004
松岡 昌幸	アメリカわくわくスペシャリスト留学 (2005) 専門技術・資格を取得する ・2004
ICC 国際交流委員会	アメリカ大学留学決定版 ・2004
日米教育委員会	アメリカ留学公式ガイドブック(2005 年度版) ・2004
アルク留学事典編集部	アメリカ留学事典 (2005 年度版) ・2004
アルク留学事典編集部	イギリス留学事典 (2005 年度版) ・2004
上海エクスプローラー	エクスプロア 上海(蘇州)便利帳('04 '05 年版) ・2004
カテリーナ リリーフック	カテリーナ、中国人社会にふみこむ 外国人が知っておきたい中国人とつきあうコツ ・2004
倉田 ホップ	カナダ国際交流とプチ留学 モントリオール海外ボランティア 海外でお好み焼きイベントを行う ・2004
アルク留学事典編集部	カナダ留学事典 (2005 年度版) ・2004
関 郁夫	ゼッタイ覚える!語学留学で困らない英語表現 100 ・2004
石谷 由美子, 石田毅	はじめての IELTS 英国留学試験 イギリス・オーストラリア・ニュージーランド 留学案内 ・2004
	はじめての留学準備スーパーガイド (2005 年度版) ・2004
松岡 昌幸	ホームステイわくわく留学 (2005) ・2004
鄧秀, 湯海鵬	ゆうゆう中国語 ・2004
主婦の友インフォス情報社	わたしが海外生活で見つけたもの 女性 100 人の海外体験 ・2004
法学書院編集部	英語の資格・検定のすべてがわかる本(改訂版) ・2004

	英国留学ガイド(2004/05) ・2004
牧瀬 里穂	廻り道、通り道、マキセ道 人生リセット プチ留学記 ・2004
川手ミヤジエフスカ 恩	海外の大学・大学院で授業を受ける技術 ・2003
	海外留学 Q&A (2005 年度版) ・2004
日本国際教育協会留学情報センター	海外留学の手引き(2003/2004) ・2004
NOVA	海外留学パーフェクトガイド ・2004
李 栽 彧	韓国語会話 すぐに使える短いフレーズ ・2004
	語学留学 (2005) ・2004
一ツ橋書店編集部	正しい留学の手引き (2006 年度版) ・2004
川上 正子	体当たりカナダ留学 ブリティッシュ・コロンビア大学での生活とさまざまな出会い ・2004
アルク留学センター	大学院留学事典 (2005-06 年度版) ・2004
ICC 国際交流委員会	大学生のための海外インターンシップ ・2004
鹿島 英一	大学生のための短期留学 オセアニア・アジア・中東 ・2004
伊藤 隆夫	知りたい!TOEFL ・2004
地球の歩き方編集室	地球の歩き方 成功する留学 H. ワーキングホリデー完ペキガイド (2005-2006 年版) ・2004
地球の歩き方編集室	地球の歩き方 成功する留学 A. アメリカ語学留学 (2004-2005 年) ・2004
地球の歩き方編集室	地球の歩き方 成功する留学 B. イギリス・アイルランド留学(2004-2005 年版) ・2004
地球の歩き方編集室	地球の歩き方 成功する留学 D.カナダ留学(2004-2005 年版) ・2004
地球の歩き方編集室	地球の歩き方 成功する留学 F. フランス留学 (2004-2005 年版) ・2004
藤井 亮蔵	中学英語で日本の行事が紹介できる(改訂新版) ・2004
趙 明德 他	中国語スピードマスター1000 語 ・2004
欧米アジア語学センター	中国語会話 すぐに使える短いフレーズ ・2004
李 景 芳	中国人を理解する 30 の「ツボ」 考えすぎる日本人へ ・2004
国際交流委員会	働く留学インターンシップ 新しい自分を発見する、これからのビジネス留学ガイド (Vol.7) ・2004
鈴木 カオル	悩めるあなたの英語学習カウンセリング ・2004
谷崎 光	北京の愉しみ ・2004
毎日留学年鑑刊行会	毎日留学年鑑 2 イギリス・アイルランド留学 ・2004
アルク留学センター	留学 ACCESS 1 号 (Autumn&Winter) はじめての留学いますぐ実現! (1) ・2004

ICC 国際交流委員会	留学してみたい!大学生のための1年間留学(2004年)・2004
小谷 順一	留学はいかが? Let's create your one & only!・2004
海外進学センター	留学ベストガイド 大学・大学院留学 イギリス・オーストラリア・ニュージーランド版 (2004 2005年度版)・2004
海外進学センター	留学ベストガイド 大学・大学院留学 アメリカ・カナダ版(2004 2005年度 版)・2004
学研編集部	留学情報ハンドブック 海外で学ぶ!働く!(2004-2005年版)10か国17人の留 学&海外ステイ・2004
栄 陽子	留学生必携!アメリカ留学まるごとガイド 改訂版・2004

## 本学教員著作寄贈図書

(平成16年9月～平成17年8月受入分)

この度は次のように寄贈していただきました。ありがとうございました。本学教員著作寄贈  
図書コーナーに配架し、利用に供しています。(寄贈者名のABC順。所属等は平成17年9月1日現在)

AR	有田美千子 (元教養部)	もう一つの日本 鳥取への贈り物	発行:矢部由香里 2004.4.30
FU	藤島弘純 (元教育地域科学部)	この仔たちを捨てないで 雑種犬ジェイの生涯	牧歌舎 2005.3.25
HI	広富博 (生涯教育総合センター)	豊島吉則先生遺稿論文集 地形の成り立ちをよむ 山陰海岸を中心として	豊島吉則先生遺稿論文 集刊行会 2004.7
IN	井上順理 (元教育学部)	真正なる日本の教育 国民會館叢書30	国民會館 2000.3
IN	井上順理 (元教育学部)	西洋中世倫理 修道院と神秘主義 西晋一郎先生講義	発行:木南卓一 2004.9.13
IN	井上光弘 (乾燥地研究センター)	不飽和地盤の挙動と評価	地盤工学会 2004.12
IN	井上光弘 (乾燥地研究センター)	HYDRUS-2Dによる土中の不飽和流れの計算	農業土木学会土壌物 理研究部会 2004.3.29
KA	門田真知子 (地域学部)	世紀の恋人 ボーヴォワールとサルトル	藤原書店 2005.6.30

MI	溝口達也 (地域学部)	問題解決と評価 算数・数学教育論	製作：西日本法規 出版 2003. 9. 10
KO	小林洋一郎 (地域学部)	学習指導体制の研究 授業と発問	酒井書店 2005. 2. 25
NA	内藤久子 (地域学部)	ドヴォルジャーク (作曲家人と作品シリーズ)	音楽之友社 2004. 10. 5
NI	錦織 勤 (地域学部)	鳥取・米子と隠岐 但馬・因幡・伯耆 (街道の日本史 7)	吉川弘文館 2005. 8. 1
NO	野津 龍 (元教育学部)	隠岐島の牛突き	全隠岐牛突連合 会 2004. 8. 1
NO	能美 誠 (農学部)	農業地域区分・時期区分手法論	農林統計協会 2005. 1. 25
SA	佐藤 宏 (農学部)	プラム動物用医薬品ハンドブック 原書第3版	NEW ILL UBLISHER 2003. 3
SA	作野友康 (元農学部)	ものづくり 木のおもしろ実験	海青社 2005. 3. 10
TA	谷守正寛 (国際交流センター)	曖昧的日本語表現	鳥取大学留学生サポー トオフィス 2002. 12. 25
YA	矢部敏昭 (地域学部)	授業の「質」を高める新しい算数の学習 (学力向上フロンティアスクールの実践 3)	明治図書出版 2004. 7
YA	矢部敏昭 (地域学部)	学習感想を取り入れた新しい算数の学習 (学力向上フロンティアスクールの実践 4)	明治図書出版 2004. 8
YA	矢部敏昭 (地域学部)	「発展的学習」を志向する新しい算数の学習 (学力向上フロンティアスクールの実践 6)	明治図書出版 2005. 6
YA	矢部敏昭 (地域学部)	「一人学び」をめざす新しい算数の学習 (学力向上フロンティアスクールの実践 7)	明 治 図 書 出 版 2005. 6

## ABC（自動貸出返却装置）操作方法の紹介

平成17年4月よりカウンター前に自動貸出返却装置を設置いたしました。この装置で図書の貸出、返却、更新が出来ます。この装置を利用すると利用者のプライバシーの保護も高まり、また、貸出図書の書名、返却日が印刷され確認することが出来ます。

利用については学生証番号または図書館利用者カードとパスワードが必要です。

学生・院生等学生証をお持ちの方は、学籍番号と学務支援システムのパスワード又は英会話(アルクシステム)のパスワードで利用できます。

\* パスワードが分からない場合は、学生部教育支援課または所属の教務係までお問い合わせください。

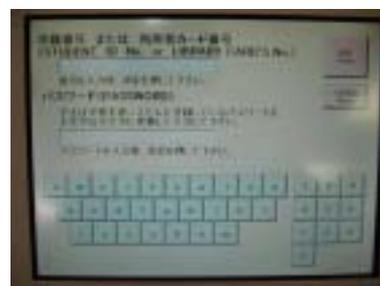
教職員等図書館利用カードをお持ちの方は、8桁の利用番号と申請書に記入されたパスワードで利用できます。但し、平成17年4月以前に登録された方は、パスワードを登録いたしますので資料サービス係に申し出てください。

### 貸出方法

初期画面で**貸出**をタッチする。



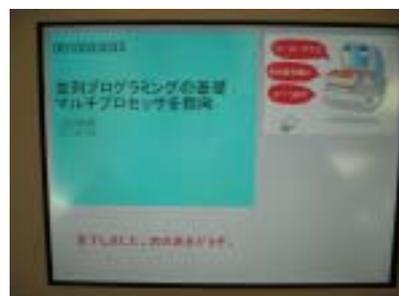
学籍番号または利用者カード番号を入力(**決定**ボタン)、パスワード入力(**決定**ボタン)



画面上に利用者氏名が表示されれば、図書の背表紙を奥にして装置台に置く。読みとりが始まる。



貸し出された書名が表示されれば OK。次の図書がある場合は続けて台の上に置く。



取込が終了したら、**終了**ボタンを押せばプリントされた紙が出力される。

### 返却方法

**返却**をタッチする。

図書を装置の台に置く。

返却が終了すれば**終了**をタッチする。

### 更新方法

更新ボタンを押す。 \*あとは貸出方法と同じです。

以上簡単に説明いたしました。利用方法は図書館ホームページにも掲載しております。

(<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/abc/abcmanual.html/>)

# 2005年度学生選定図書について

図書館ではこれまで利用者アンケートや投書箱「図書館の窓」を通して利用者のみなさんからのご要望をお聞きしていますが、その中でもたくさんのご希望が寄せられていた学生用図書の充実を一層図るため、今年度から学生さん自身に図書を選定していただく「学生選定図書費（100万円）」を新設しました。地域、工、農学部関係各30万円、医学部10万円（1年次のみ対象）と決して十分な金額とはいえませんが、各学部より選出された選定学生を中心に合計約300冊のそれぞれの関係図書等を選定していただきました。選定していただいたみなさん、本当に有り難うございました。

その選定に携わっていただいた方々から、その感想をお寄せいただきました。紙面の都合により全部をご紹介しますことはできませんが、その内の3点を掲載させていただきます。

## 地域学部関係の図書を選定して 教育地域科学部 4年 竹迫 千晴

今回、鳥取大学附属図書館の図書選定（学生選定図書）をさせて頂きました。普段、図書館を利用しながら、様々な分野の新しい図書が少ないことを感じていたため、今回図書を増やすこと、そして私たち学生が選定をさせて頂けるということを知り、とても嬉しい思いで選定に臨みました。

私が担当したのは、教育地域科学部（現在の地域学部）の教育分野の図書でした。選定を行う上で、教育の各専門分野に偏りが無いよう、各課程の学生に協力をお願いしました。思うように資料が集まらなかった分野については、可能な範囲で必要と思われる図書を選定しました。しかし、選定は思ったより難しいものでした。個人の情報伝達だけでは限界があり、偏りは避けられなかったため、各分野の研究室を無作為に選び選定をお願いし、回収を徹底すればよかったという反省があります。

結果として、大幅に図書が増え、大きな変化を感じました。大学図書館の本を、学生にも選定させて頂いた点は、大きな意義があったように思います。さらに魅力的になった大学図書館が、今後もこれまで以上に有効活用されることと思います。

貴重な機会をありがとうございました。

## 工学部関係の図書を選定して 電気電子工学科3年 小野寺 拓人

今回、図書館で購入する図書の選定を行うにあたり、工学部の友人や先輩に対し調査してみました。その結果としては、4年生や院生の方からは実際必要になったときでないと、どの本が必要なのかわからないという回答をもらいました。また、3年生以下の学生からは分野として授業で理解しにくかった科目、たとえば流体力学や熱力学についてのわかりやすい図書がほ

しいという要望がありました。また、プログラミング言語についての図書が少ないのではないかと意見がありましたが、プログラミング言語関連の図書が主に工学の図書が配架してある本棚と離れた場所にあるため見つけにくいのではないかと思います。

工学部では主に授業で使用する教科書や問題集は各自で購入するため、そのほかに参考図書を指示されることはあまりありません。ただし、生物応用工学科ではよく授業で参考図書を指示されているようです。実験のレポートを書く際に図書館の図書を使用すると思うのですが、実験の指導書もあまり改定されていないので今ある分の資料で間に合っていると思います。ただし、工学部全体として JABEE（日本技術者教育認定機構）の認可を受けるために工学倫理についての講義やレポートを実施しているため、工学倫理に関する本を何冊か選定しました。

図書の選定を行い、工学部生（特に3年より下の学年の生徒）があまり図書館を利用できていないということを感じました。普段の授業では図書館を使用する必要がないため、試験期間のみの使用やインターネットの使用だけになっているのだと思いますが、せっかく図書館があるのでもっと利用してほしいと思います。

## 農学部関係の図書を選定して

獣医学科3年 森本 静香

今回、学生が授業や研究などに役立つ本の希望を出すということで、私は獣医学科の学生の希望図書のリストを作成することになりました。希望をとる方法としては、動物病院の掲示板を含め獣医の掲示板に、希望図書があれば出してほしいとの旨の掲示をしました。すると多数の学生（先輩方）からの希望があり、それも2セットの本に対して多数の学生が希望を出しているという状態でありました。

最初希望が来るかどうか不安な気持ちだったので、そのように希望が多かったことはとてもうれしかったです。そして、獣医学科のリストを作成して提出したところ、獣医の専門書は値段が高いにもかかわらず、たくさんの学生からの希望であったためか購入予定とのことだったので、学生が切実に必要としている本が大学図書館の蔵書に加わることとなり本当に良かったと思いました。このように今回の学生による選定図書の試みは、学生の意見が反映される良い試みだったと思います。

しかし問題点もあり、今回図書館の学生アルバイトがそれぞれ所属の学部やコースなどで割り振りそれぞれ選定図書のリストを作成しましたが、それでは大学の全ての学科やコースの希望をとることは難しく、どうしても偏りが生じてしまうということがあったと思われます。コース（研究室）では別に希望図書を購入したりという機会はあるようなのでそれほど問題にならないかもしれませんが、リストを作成する際あまり偏りが生じないよう気をつけたり、リストを作成する人数を増やすなどの配慮が必要であるようにも感じられました。このような課題点もふまえ、こういった試みが改善されていき、これからも学生の希望図書が図書館に増えていけば素晴らしいと思います。



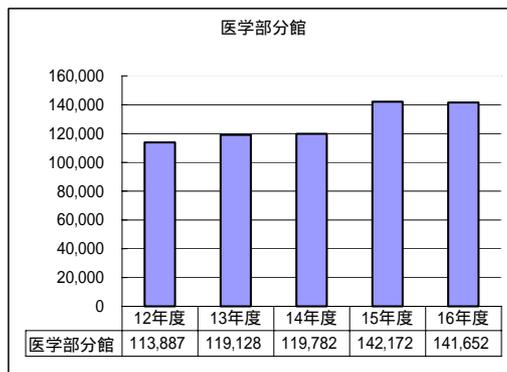
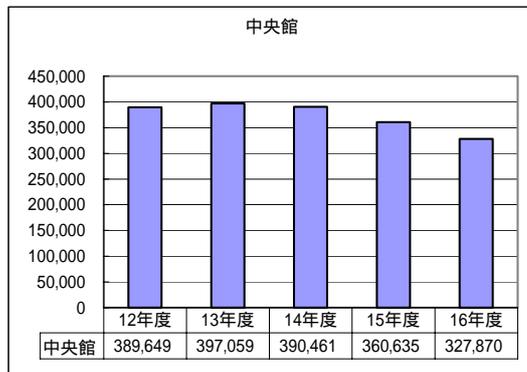
# 附属図書館利用状況

近年、貸出者数・冊数ともに教職員、学外者には大きな変化は見られないが、依然として減少傾向にある学生の利用が気になるところである。学生の図書館離れを少しでも阻止するために今年度新設した、「ベストセラー図書」「学生選定図書」「共通教育科目図書」等や軽読雑誌の充実による今後の効果に期待したい。また、学外への文献複写依頼件数の減少は学内の電子ジャーナルが充実しつつあることを反映していることが考えられ、一方、学外からの文献複写受付件数の増加は他機関においても本来必要とした学術雑誌を購読中止せざるをえない状況にあることも要因といえよう。

## 年度別開館日数

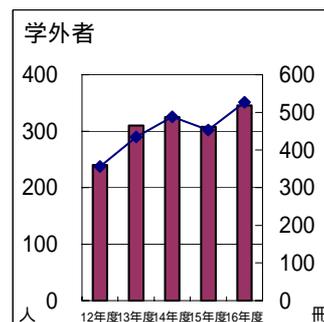
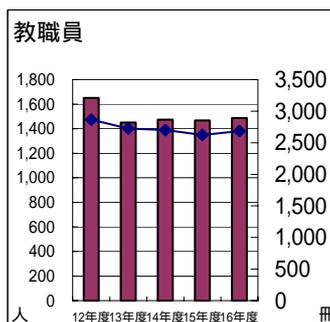
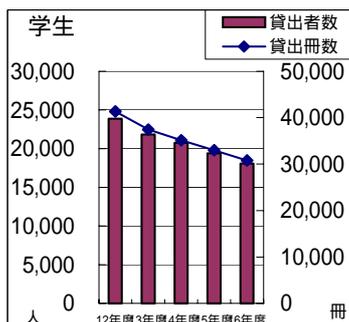
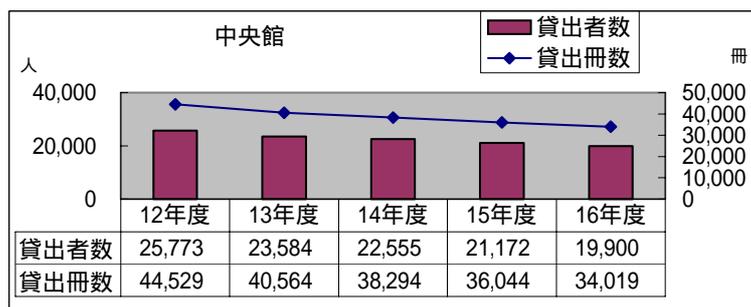
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
中央館	308日	310日	309日	291日	312日
医学部分館	323日	328日	327日	330日	331日

## 年度別入館者数

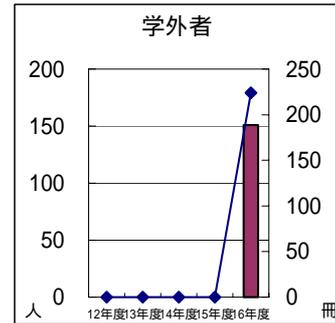
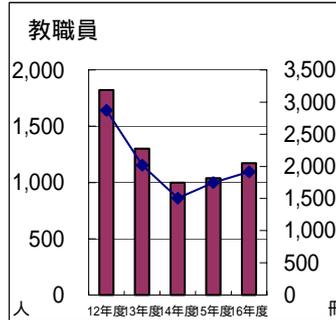
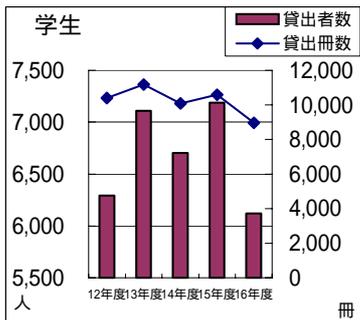
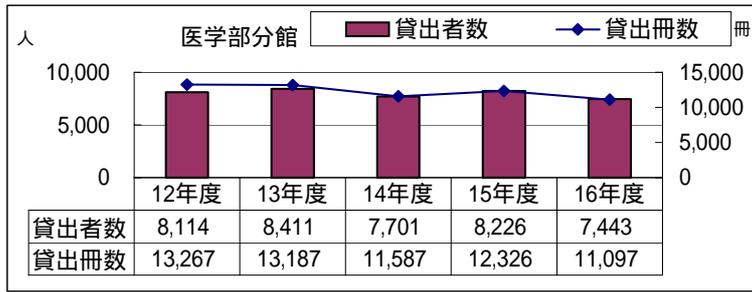


## 年度別貸出者数・冊数

中央館

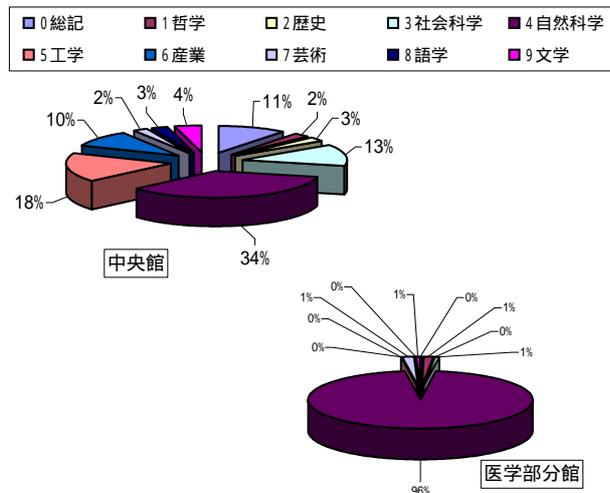


医学部分館

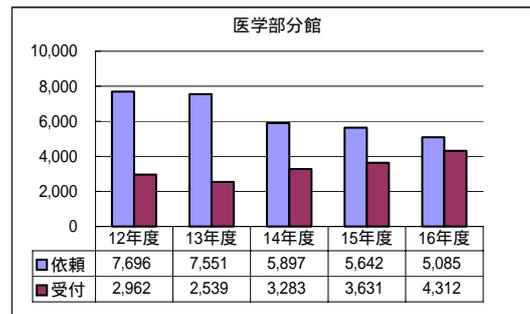
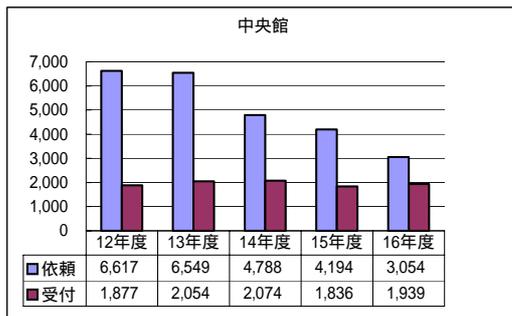


平成15年度分類別貸出冊数

分類	貸出冊数	
	中央館	医学部分館
総数	34,019	11,097
0 総記	3,638	25
1 哲学	812	147
2 歴史	854	4
3 社会科学	4,425	84
4 自然科学	11,940	10,598
5 工学	5,962	5
6 産業	3,333	1
7 芸術	786	157
8 語学	885	1
9 文学	1,384	75



文献複写学外依頼・受付件数



////////////////////////////////////ミニ・トピックス////////////////////////////////////

## 図書館で中学生が職場体験学習

附属図書館では6月20日から24日の5日間を鳥取市立湖東中学校、6月28日から7月1日の4日間を本学附属中学校の2つの中学校（いずれも2年生3名ずつ）の職場体験学習を2週間にわたり連続して受け入れました。これは、仕事や社会へ積極的に関わる体験を通して人間関係づくりを学び、共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として両校が毎年実施しているもので、今年度で6年目を数えています。

生徒たちは慣れない作業に戸惑いながらも、カウンターでの図書の貸出・返却処理をはじめ、雑誌の受付や NACSIS-CAT から書誌データをダウンロードするなどの業務を体験したほか、人気メニューとして定着してきた簡単なホームページの作り方や電子ジャーナル体験などを熱心に学びました。そのなかで、「難しいことがたくさんあって失敗も多かったが、いろいろな仕事が体験できて楽しかった。」「利用者への応対にとっても緊張した。」「表からは見えない場所で様々な人が役割を持って働いているのを知って驚いた。」などの感想を聞かせてくれました。



図書館業務を体験する中学生

////////////////////////////////////

### 平成17年度第1回図書館講演会

#### 「**稲羽の素菟**」を因幡で考える を開催

7月8日（金）午後3時から約1時間半にわたって、小島<sup>よしゆき</sup>瓊琉球大学名誉教授を講師に招き、『**稲羽<sup>しろつきぎ</sup>の素菟**」を因幡で考える』と題した本年度第1回図書館講演会を一階会議室で開催しました。これは、今年1月に鳥取で開催された国際比較神話学シンポジウム「世界の神話から見た因幡の白兔—海洋神話の総括」に続いて資料調査のため同名教授が来学されたのを機に、そのシンポジウムの中心となられた本学地域学部の門田真知子教授のご尽力によって実現したものです。

講演では、因幡、伯耆、隠岐の伝承からみた「稲羽の素菟」について、アジア諸国に伝わる類話の分析や関連性をはじめ様々な角度から実証的レベルで解説され、学内外から集まった40名以上の参加者が興味深く聴き入っていました。身近な郷土の物語であることから、そのあとの質問コーナーにもたくさんの質問が飛び交い、設定時間を超過するほどの熱心な質疑応答が繰り広げられました。



熱心な参加者で賑わう講演会



## 鳥取市立中央図書館及び米子市立図書館と

### 相互協力に関する協定を締結

当館は、既に鳥取県立図書館と相互協力に関する協定を結んで活発な活動を続けていますが、いっそう地域への連携の強化と相互協力を図るため、平成17年10月1日に、中央館が鳥取市立中央図書館と、医学部分館が米子市立図書館と、各々図書館利用の相互協力に関する協定を締結しました。これは平成17年6月から鳥取、米子地区毎にはほぼ並行して協議を重ねた結果、9月30日に鳥取市立中央図書館と米子市立図書館において同時に協定書に調印する運びとなったものです。

各々の相互協力の内容は、①図書館資料の相互貸借、②文献複写、③レファレンス業務、④図書館講演会及び公開展示、⑤横断検索システムの整備、⑥職員の相互交流、の6項目を掲げており、可能なものから取り組んでいくこととしています。

この協定によって、鳥取地区の教職員・学生が鳥取市立中央図書館の資料を借りる場合は、市立図書館の貸出カード番号に基づき同館のホームページからインターネット予約を行い、キャンパスから約8km離れた市立図書館にわざわざ出向くことなく本学中央館で貸し出しを受け、それを本学中央館内に設置した返却ポストに返せばよいシステムとなりました。また、米子地区の教職員・学生が米子市立図書館の資料の貸出を受けたり返却をする場合は、医学部分館から近距離にあるため、これまでどおり直接市立図書館に出向くこととなりますが、この貸出とは別に、分館の弱いジャンルといえる一般教養書や小説類を市立図書館から100冊、3ヶ月間の貸出を受け、分館内に配架して利用できるようになりました。これまでの県立図書館との協定サービスに加えて、2つの市民図書館との協定締結により、サービス面での一層の充実が期待されています。

なお、この協定の締結記念として、10月6日に米子市立図書館で本学医学部の高塚人志助教授を講師に「チャレンジコミュニケーションーコミュニケーション上手になるためにー」と題する講演会を、また10月29日には鳥取市立中央図書館において本学副学長・附属図書館長の和泉好計教授をコーディネーターに「日本酒の魅力、地酒の魅力ー文化に支えられた伝統とハイテク醸造技術ー」をテーマにしたシンポジウムを、それぞれ開催する予定です。



協定書に調印する和泉鳥大副学長・館長（左）と  
神谷鳥取市立中央図書館長（於鳥取市立中央図書館）



調印する吉田医学部分館長（左）と佐々木米子市立図書館長（於米子市立図書館）



## 附属図書館報「Library」は

### 第106号からWeb版のみとなりました。

鳥取大学附属図書館報は1970年4月の創刊で、館報の発行としては全国的に早くから名称を「とよかんぼう」として隔月刊でスタートしました。今年でちょうど35年が経過し、既に106号を数えるに至りました。その間、41号(1983年)から誌名を「Library」として季刊となり、81号(1994年)からは大きさもそれまでのB5版からA4版にしたほか、その後の85号(1995年)から年2回刊行とするなど幾多の変遷を経てきました。

更に、この106号からは図書館利用上のニュースをより迅速に提供するため、これまでの紙での発行を止めて附属図書館ホームページからのWeb版のみとすることとなりました。タイトルデザイン等も一新して、図書館をより身近に感じていただける内容をお届けしたいと思いますので、どうか今後ともご理解とご協力をいただき、引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。

**鳥取大学附属図書館報 第106号**（編集・発行）国立大学法人 鳥取大学附属図書館中央図書館

〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101番地 【TEL】 (0857)31-6727 【FAX】 (0857)28-6346

【E-Mail】 [k030000@zim.tottori-u.ac.jp](mailto:k030000@zim.tottori-u.ac.jp) 【ホームページ】 <http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>

Copyright (C) 国立大学法人 鳥取大学附属図書館 【本館報について一切の無断転載を禁止します】